

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人みちのく福祉会 こども発達支援センターりりい		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 7日		～ 令和 7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 7日		～ 令和 7年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○訪問先施設評価実施期間	令和 7年 1月 7日		～ 令和 7年 1月 24日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	7園	(回答数) 7園
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所での取り組み内容や様子を具体的に伝えるようにしています。また、見学に来ていただくことも進めています。	児童が過ごす時間が一番長いのは保育園であることを加味して“保育園での取り組み”も柔軟に引き継いでいます。	支援のための連携は不可欠であるため、保育園と事業所の特性や特徴を尊重しあい協調して進めていきます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の訪問時間帯と保育園側の日課時間が合わないことで余裕がない印象がある。	訪問時間の調整、訪問支援員とスタッフの複数訪問の進め方などを再検討する必要がある。	共通した関わり方と考え方・支援方法の具体化と共有化など、実際の保育現場と実状に沿った支援と療育が提供できるよう研修会の参加などスキルアップに取り組んでいきます。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人みちのく福祉会 子ども発達支援センターりい

公表日 令和 7年 2月 27日

利用児童数

9名

回収数

9名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	6			3		りいいで使用している課題や共有できる教材を検討していきます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8			1		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	8			1		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	8	1				相談支援事業所担当者を含め相互理解を深めていきます。
適切な 支援 の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	8			1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	9					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	9					
保護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	8	1				今年度は保護者研修会にて「ペア・トレ」を学ぶ機会を設けました。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	9					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8			1		保護者の活動見学や情報交換の機会をより多く設けていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	9						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	8	1			保護者様にも理解していただくよう取り組みを進めています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	9				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1		2	ホームページの内容を充実していきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	8			1	事象があった場合は適切に対応させていただきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	9				
	28	事業所の支援に満足していますか。	9				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人みちのく福祉会 子ども発達支援センターりりい		公表日		令和 7年 2月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	80%	20%	専用の教材としては無い(使用していない)。	りりいで使用している課題や共有できる 教材を検討していきます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%				
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	100%				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	90%	10%	改善に努めている。	実質的には今年度から取り組み始めた 部分もあり、今後に向けて分析して いきます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	100%				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	100%				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	80%	20%	少なく感じる。	今後も研修の機会を設けていきます。	
適切 な支 援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	100%				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	90%	10%	盛り込んでいないように感じる。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	100%				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	100%				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	100%				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	100%				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	100%				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	100%				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	100%					
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	90%	10%	見直しが必要と感じる。	実質的には今年度から取り組み始めた 部分もあり、今後に向けて分析して いきます。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	90%	10%		様々な機関との連携を進めていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%		部会員、講師等として参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	90%	10%	外部講師を招聘し「保護者研修会」として実施しています。	今後も研修の機会を設けていきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	90%	10%	保護者研修会を企画し、研修会終了後に「茶話会」を設けました。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%			ホームページの内容を充実させ周知していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	90%	10%		実質的には今年度から取り組み始めた部分もあり、今後に向けて分析していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	90%	10%		実質的には今年度から取り組み始めた部分もあり、今後に向けて分析していきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	90%	10%		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			今後も法人虐待防止研修などを活用していきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	90%	10%	実例がありません。	今後も法人身体拘束研修などを活用していきます。